

「平成 28 年熊本地震」関連労働災害発生状況について

(平成 29 年 3 月 15 日現在累計)

「平成 28 年熊本地震」による労働災害発生状況は、平成 29 年 3 月 15 日現在、休業 4 日以上が、地震時 34 件、災害復旧工事等 158 件発生している。このうち、死亡災害は、災害復旧工事等において 4 件発生している。

1. 熊本地震及び余震による労働災害について（休業 4 日以上）

熊本地震（平成 28 年 4 月 14 日以後）による労働災害発生状況は、前震、本震及び余震による労働災害が 34 件発生している。

事故の型別にみると、高温・低温の物との接触が最も多く 11 件、転倒が 10 件、墜落・転落 2 件、激突 3 件、踏み抜き 2 件、崩壊倒壊 2 件、その他 4 件となっている。

災害発生状況は、フライヤーの油が飛び散り火傷、地震で散乱したガラスを踏み転倒、棚から落ちて割れたガラス片で切創、逃げる時機械に激突、揺れでバイクと共に転倒、装置が倒れてきてはさまれるなど、休業見込み日数 1 か月以上の災害が 17 件発生している。

傷病別では、骨折 13 件、ねんざ等 4 件、切創等 3 件、打撲 3 件、火傷 11 件となっている。

2. 災害復旧工事などによる労働災害について（休業 4 日以上、死亡含む）

熊本地震の災害復旧工事などによる労働災害は、休業 4 日以上が 158 件発生している。

事故の型別にみると、墜落・転落が 75 件、転倒が 14 件、飛来落下が 15 件、激突され 11 件、はさまれ巻き込まれが 11 件、動作の反動無理な動作が 7 件、切れこすれ 11 件、その他 14 件発生している。

災害発生状況は、瓦の撤去作業中屋根から転落、工場の修復作業中足場から転落、震災で崩れた荷の後片付け中荷の上から転落、仮設住宅新築工事中、足場から転落など、休業見込み日数 1 か月以上の災害が 104 件発生している。

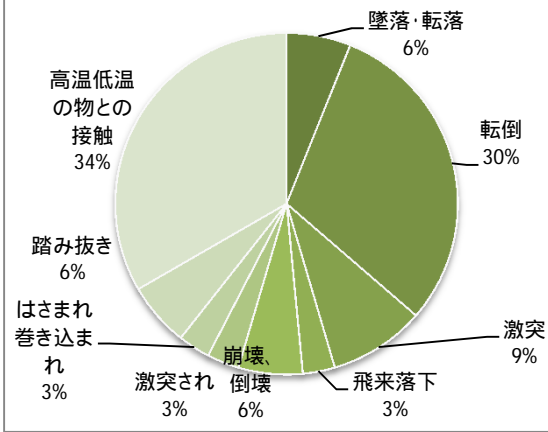
傷病別では、骨折 90 件、ねんざ等 14 件、打撲 29 件、切創 18 件、その他 7 件となっている。

3. 死亡災害

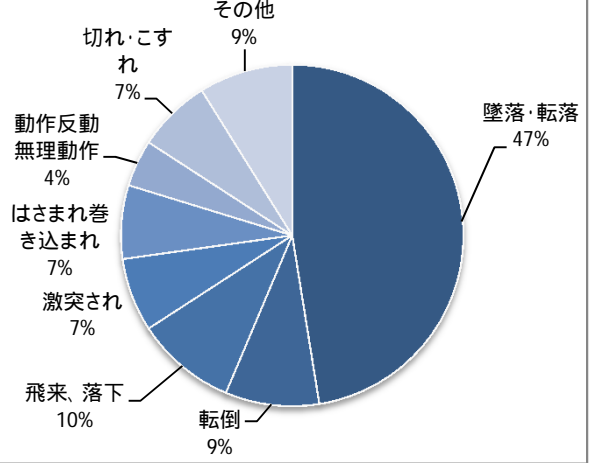
以下の死亡災害が 4 件発生している。

- ・解体用の車両系建設機械でつかんだ木材が弾け飛んで近くにいた被災者に当たった
- ・外壁改修工事現場から会社へ帰る途中、高速道路で交通事故に遭ったもの
- ・民家の屋根瓦の修復工事中、はしごとともに地上へ墜落した
- ・町道斜面の復旧工事中、落ちてきた鉄の材料が被災者に当たった

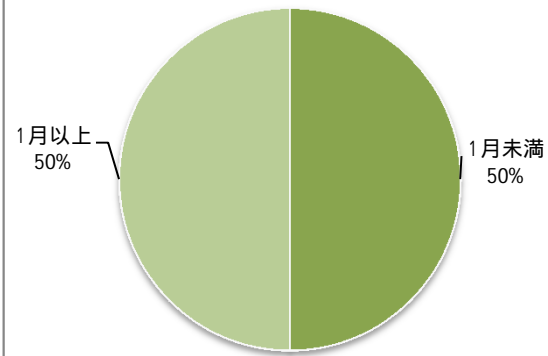
事故の型(地震時)



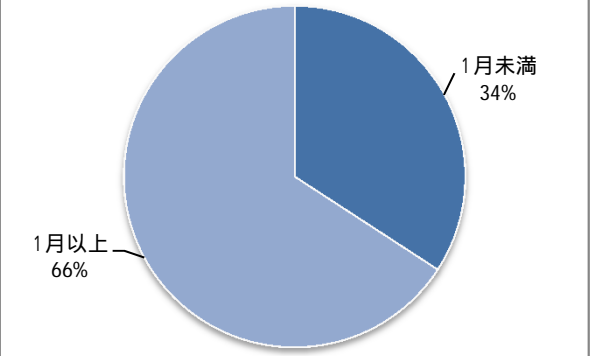
事故の型(災害復旧)



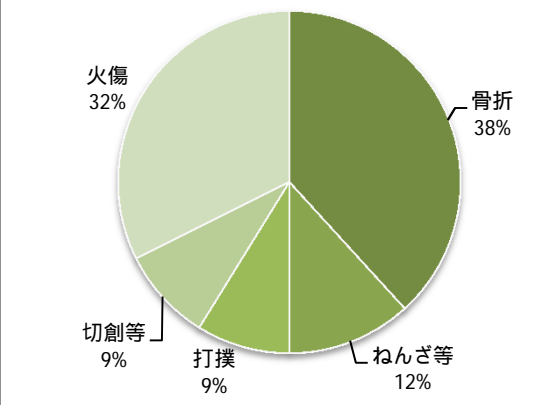
休業見込み(地震時)



休業見込み(災害復旧)



傷病名(地震時)



傷病名(災害復旧)

